

出原議員（自民議連）

平成 29 年 9 月 22 日
教育長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問） 公立学校図書館の運営について

公立小中高校の図書館への学校司書の配置状況について現状をどう捉えているのか、また、図書館運営について教育委員会としてどのような考え方に立って、今後どのように取り組んでいこうとしているのか、併せて教育長に伺う。

（答）

学校図書館は、学校内において読書、学習、情報収集などの機能をもっているため、児童生徒の資質・能力の育成を促す主体的な学びを効果的に進める上で、その役割は重要であると考えております。

現在、本県の公立小・中・高等学校の図書館への学校司書の配置状況につきましては、小・中学校においては、国の財政措置を活用し、徐々に配置が進んでいるところでございますが、県立学校におきましては、国の財政措置がないことから、配置校数の割合が全国平均と比較して、低い状況にございます。

本県におきましては、学校図書館を活用した取組の核となる司書教諭を中心として、日々の授業を含め、生徒の読書活動や学習活動において、学校図書館を積極的に活用できるよう、全校一斉読書活動を実施するなど、学校全体で図書教育の推進体制の整備を進めており、小・中・高等学校において「普段、読書をする」と回答した児童生徒の割合は、いずれも全国平均より高くなっており、学校図書館の機能は概ね果たしているものと考えております。

教育委員会といたしましては、引き続き、学校司書につきましては、国に対して定数などの財政措置を要望いたしますとともに、市町教育委員会に対して配置の拡充について要請を行ってまいります。

また、司書教諭につきましては、配置の拡充に努めますとともに、図書館の運営に関わる優れた事例を紹介するなど、司書教諭研修を更に充実して司書教諭の資質の向上を図ることにより、学校図書館を充実させてまいります。